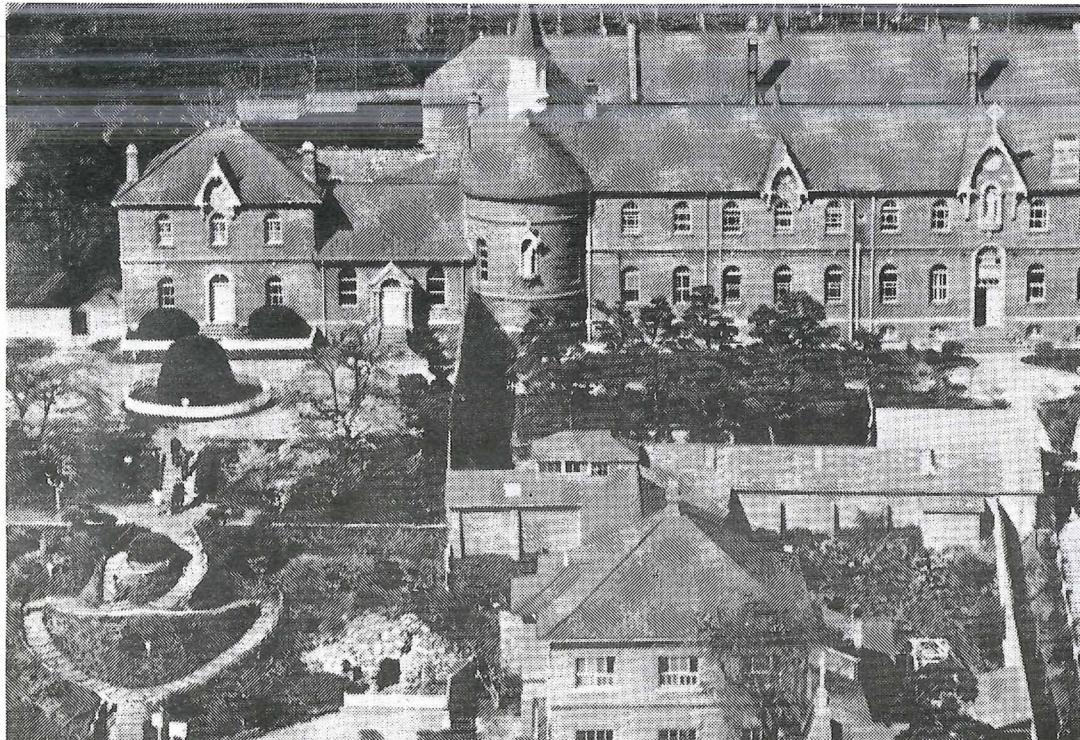


# いなづま

題字 小 寺 寬 一

発行所 函館地方電気工事協同組合  
編集総務部  
住所 函館市日乃出町7番22号  
印刷所 畠山印刷



「湯の川トラピスチ又修道院」

就任ご挨拶

北海道電力株式会社函館営業所

所長片山敏勝

今回の異動で函館営業所に赴任してまいりました片山でございます。

紙上をお借りしまして一  
言ご挨拶させていただきま

常日頃は当社社業に対し  
ご理解、ご支援を賜わり厚

くお礼申し上げます。

ご高承のとおり、本道をとりまく経済環境は誠に厳しいものがあり、全国的には不況は底を打ったとの見方も出ておりますが、北海道については、冷夏による農作物の不作、素材型産業に代表される産業界の不振等により依然低迷をつづけており、なかなか離陸してくれない状況でございます。

経営の合理化・生産性の向上等達成の促進力、雇用の確保等、多方面に貢献する重要な急務となっております。

そのため、屋内電気工事の質の向上が強く要求され、内線工事業界の技術レベルの向上もますます重要なになってきております。

ればならず、少しでもお役に立てればと考えております。  
最後に函館地方電気工事協同組合のますますのご発展と組合員の皆様のご活躍とご健康を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

## 役員会だより

### 第四回役員会

五八・七・五

- 一、慶弔報告
- (一)、西川電気商会代表者母堂ご逝去
- 二、貸付報告
- 八社 三一五万円

- 三、各支部報告並提案事項
- (一)、江差支部||北電と合同でソフトボーラー大会を開催した。

- 四、総務委員会事項
- (一)、組合青年部の設立について (詳細別掲)
- (二)、安全大会の開催について
- (三)、旅費規程について

- 五、技術・教育委員会事項
- (一)、事業内認定職業訓練校の備品、消耗品の処分について
- (二)、北電引込以下工事工量の調査について
- (三)、北電柱街路灯器具の合格品について

- 六、事業委員会事項
- (一)、北電引込以下工事資材業者持制度に伴なう説明会の日程と各支部指導員の選任について
- (二)、全国電気使用安全月間について

各支部毎に福祉施設の点検・清掃等を実施することに決定した。

- (三)、全日電工連政治連盟の会費について
- 第五回役員会
- 一、慶弔報告
- 五八・八・二

なし



- 二、貸付報告
- 二社 一〇〇万円

### 三、各支部報告並提案事項

- 東支部||役員会及び北工連絡会の報告をした。
- 八雲支部||電設付帶引込以下工事について説明会の後役員会の報告をした。

- 赤川支部||事務所が自宅と異なる場所に所在する場合の所属支部はどちらか

- 江差支部||北工連絡会を開催した。
- 福島支部||安全大会を開催した。

- 八雲支部||電設付帶引込以下工事の報告をした。
- 江差支部||事務所が自宅と異なる場所に所在する場合の所属支部はどちらか

### ◎ 電気工事業法による営業所の所在地で

支部を定める。

### 四、総務委員会事項

- (一)、電気工事安全大会の報告
- (二)、電気保安功労者の表彰 (詳細別掲)
- (三)、譲受、譲渡加入について
- (四)、東和電気—東和電気 (承認)

- (五)、臨時休業について
- (六)、事務所改築及び補修について

- (一)、電気工事士試験 (実技) のための特別訓練の報告 (受講者 二三名)
- (二)、北電引込線工事・計器工事の工量単価の改訂 (詳細別掲)

- (三)、北電仮設工事について

- (一)、北電引込以下工事工量の調査について
- (二)、北電柱街路灯器具の合格品について

- (三)、北電引込以下工事資材業者持制度について

- (一)、北電引込以下工事工量の調査について
- (二)、北電柱街路灯器具の合格品について

- (一)、北電引込以下工事工量の調査について
- (二)、北電引込以下工事工量の調査について
- (三)、北電引込以下工事工量の調査について

6月2日	第二回北工連絡会議 (於組合会議室)
10日	技術・教育委員会議
14日	青年部設立準備委員会 (於組合会議室)
1715日	電気工事士試験 (学科) のための特別訓練
全日	電波障害防止協議会定期総会に坂本事務局長出席 (於五稟郭タワー)
全日	中波島支部会議
22日	全日電工連互助会に大倉理事長出席 (於東京都)
28日	事業委員会議
29日	江差支部会議
23日	青年部設立準備委員会 (於組合会議室)
23日	道工業組合三役会議に大倉理事長出席 (於札電協)
7月5日	第四回役員会
7日	北電関連安全衛生推進大会に大倉理事長出席 (於建設会館)
7日	道工業組合役員会・委員会に大倉理事長、吉田副理事長出席
8日	全日本東支部会議
11日	技術・教育委員会議
12日	福島支部安全大会
13日	「同右」  北電八雲 福島営業所管内
14日	「同右」  北電森営業所管内
15日	北電引込以下工事資材の譲渡・管理説明会に大倉理事長外三名出席 (北電函館支店)

## 組合行事

7月15日	中渡島支部会議
16日	総務委員会議（金融委員会）
18日	社会保険事務説明会に坂本事務局長出席
19日	西支部会議
全日	中支部会議
22日	渡島・檜山支庁合同打合会議に坂本事務局長出席
23日	江差支部（於乙部町）
24日	いなづま編集会議
25日	電気工事士試験（実技）のための特別訓練
26日	昭和58年度電気工事安全大会（於ホテルアカシヤ）
27日	「電設付帯引込線工事システム移行説明会」   北電函館営業所管内
28日	道工業組合会計中間監査に吉田副理事長出席（於大和銀行ビル）
8月2日	第五回役員会
3日	青年部設立準備委員会（於組合会議室）
5日	認定事業内職業訓練校校長事務長会議に佐藤職員出席（於洞爺湖）
9日	道工業組合技術・教育委員会に吉田副理事長出席
10日	北電仮設配電工事打合会議に吉田副理事長出席
12日	外二名出席
13日	東支部会議
14日	全日本電設付帯引込線工事システム移行説明会
15日	北支部会議
16日	赤川支部会議
17日	全道事務局長会議に坂本事務局長出席 (於札幌・小樽市)
2019年22日	東支部ボランティア実施
23日	赤川、北支部ボランティア実施
25日	北支部会議
29日	青年部設立総会（組合会議室）
昭和58年10月31日	西支部ボランティア実施

オゼキ電工  
尾 関 孝 治昭和十八年二月十一日生  
函館市昭和四丁目一七一一  
電話 五七一二一九

伝 甫 嘉 之

昭和三三年四月㈲太陽電気工業所を経て、昭和五七年七月独立開業

## 新加入組合員の紹介

### 組合員の異動

||住所・住居表示の変更||

昭和五八年年度新加入の二名の方を  
ご紹介いたします。  
(加入月日)(昭和五八年四月一日)

(新)

(旧)

一、㈲サントウ工業  
函館市白島町七一一二  
電話 四一三三九三九  
一、昭和電設工業(株)  
函館市山の手二丁目  
四九一一〇  
四〇二一一八二

一、汐谷電機工業㈱  
茅部郡南茅部町  
川汲一四八五  
電話(0130)211371 (0130)311313  
木直九二一

茅部郡南茅部長  
本直九二一

### 組合員消息

一、九月中旬、㈲ヤマト電気工業所社長金本慶二殿  
病気入院

一、八月二十九日 事務局長坂本豊一殿(母堂  
ご逝去)  
一、九月二十四日 ㈱デイム代表者伝甫嘉之殿  
ご尊父(母)ご逝去  
一、一〇月一九日 齋藤電気商会代表者齋藤文雄殿  
ご母(母)ご逝去

昭和四五年四月北斗電気㈱を経て、昭和五四年六月  
独立開業

青年部

去る八月二五日組合青年部の設立総会が組合会議室に於いて開催されました。

青年部は、電気工事業界の次代を担う後継者を育成し、会員相互の親睦と自己の人格向上、企業の研さんを通じ地域社会に根づいた電気工事業界の進展に寄与することを目的として発足したもので、昭和五七年の初頃に組合の大倉理事長より要請があつて関係者が協議、本年六月正式に設立準備委員会を設置、このたびの設立総会開催に至った訳であります。

北海道ではすでに発足した北見・帯広、小樽に次いで四番目の発足となつたのであります。

当日の設立総会は青年部入会者三〇名中二八名の出席者に加え大倉理事長ならびに組合役員一四名計四三名が出席し、坂本事務局長の司会により定刻の午後三時開会されました。

開会の辞に引き続き設立に至る迄の経過報告、議長選出、議事審議とすすみ、青年部会則の承認を満場一致で可決めてたく青年部発足となりました。

事業計画・収支予算の審議も可決して役員の選出へと議事はすすみ、初代青年部長には樺電工業㈱の平沼冠三氏が就任しました。

平沼部長の就任挨拶に次いで大倉理事長より設立のお祝いと今後の活躍に期待する旨の祝辞があり、北邦電気㈱佐藤孝博氏より祝電が披露されました。

かくして設立総会は予定以上に順調に開催され、四時十分坂本事務局長の閉会の辞で幕を閉じ、懇親会へと席は移されました。

大倉理事長の祝盃に次いで、青年部員、組合役員の自己紹介となごやかな雰囲気の中で部員と組合役員の打ち溶けた話し合いがなされ、中でも来年の港まつり

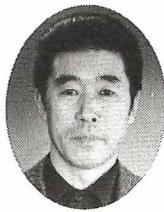


青年部は今年クラス員員三〇名の小さな一年生であります。しかし、いちねんいちねん、ひとつきひとつきと大切な勉強の場として育つて行くと思います。そして二年生、三年生と成立することによって、クラス員も序々に増加していくと思います。組合員皆様のあたゝかい御支援、御協力の程を切にお願い申し上げます。

には青年部として是非参加しようではないかと云う意見が纏まつたように見受けられました。

部長	副部長	理事	監事	(会計)	玉津	七尾	本庄	大倉	片岡	伊東	飯田	石山	敏昭	英明	孝博	耕造	伊東	小寺	池田	汐谷	梶原	慎司	石敏	研一	隆	佐藤	菅原	憲造	真史	直	博	寛治	英明	大権電氣	樺原電氣工業	汐谷電氣工業	池田電氣工業	日本電機保全	北邦電氣	ユタカ電機	日本電機保全	北邦電氣	樺原電氣	タマツ電機	新栄電氣	岡本庄電氣	道南電氣	イトウ電氣	佐藤電氣	白川電氣	平松電氣工務	巴電工舍	樺村電氣	樺工藤電氣	高橋電設	小林電機	昭和電設	東和電氣	高丘電氣	乙部電氣	マルカワ古川電氣	樺富岡電氣	里見電氣
矢本 里美	森川 義則	宮崎 憲策	深見 康尋	長谷 守	佐々木政春	佐藤 宏一	小林 幸一	小向 富士男	川村 工藤	喜悦 雅史	加藤 敏広	大谷 治身	大谷 治身	大谷 治身	巴電工舍	樺村電氣	樺工藤電氣	高橋電設	小林電機	昭和電設	東和電氣	高丘電氣	乙部電氣	マルカワ古川電氣	樺富岡電氣	里見電氣	冠二	平沼	大鎌	哲雄	冠三	樺電工業	大権電氣	樺原電氣工業	汐谷電氣工業	池田電氣工業	日本電機保全	北邦電氣	ユタカ電機	日本電機保全	北邦電氣	樺原電氣	タマツ電機	新栄電氣	岡本庄電氣	道南電氣	イトウ電氣	佐藤電氣	白川電氣	平松電氣工務	巴電工舍	樺村電氣	樺工藤電氣	高橋電設	小林電機	昭和電設	東和電氣	高丘電氣	乙部電氣	マルカワ古川電氣	樺富岡電氣	里見電氣	
森川 義則	宮崎 憲策	深見 康尋	長谷 守	佐々木政春	佐藤 宏一	小林 幸一	小向 富士男	川村 工藤	喜悦 雅史	加藤 敏広	大谷 治身	大谷 治身	大谷 治身	巴電工舍	樺村電氣	樺工藤電氣	高橋電設	小林電機	昭和電設	東和電氣	高丘電氣	乙部電氣	マルカワ古川電氣	樺富岡電氣	里見電氣	冠二	平沼	大鎌	哲雄	冠三	樺電工業	大権電氣	樺原電氣工業	汐谷電氣工業	池田電氣工業	日本電機保全	北邦電氣	ユタカ電機	日本電機保全	北邦電氣	樺原電氣	タマツ電機	新栄電氣	岡本庄電氣	道南電氣	イトウ電氣	佐藤電氣	白川電氣	平松電氣工務	巴電工舍	樺村電氣	樺工藤電氣	高橋電設	小林電機	昭和電設	東和電氣	高丘電氣	乙部電氣	マルカワ古川電氣	樺富岡電氣	里見電氣		
矢本 里美	森川 義則	宮崎 憲策	深見 康尋	長谷 守	佐々木政春	佐藤 宏一	小林 幸一	小向 富士男	川村 工藤	喜悦 雅史	加藤 敏広	大谷 治身	大谷 治身	大谷 治身	巴電工舍	樺村電氣	樺工藤電氣	高橋電設	小林電機	昭和電設	東和電氣	高丘電氣	乙部電氣	マルカワ古川電氣	樺富岡電氣	里見電氣	冠二	平沼	大鎌	哲雄	冠三	樺電工業	大権電氣	樺原電氣工業	汐谷電氣工業	池田電氣工業	日本電機保全	北邦電氣	ユタカ電機	日本電機保全	北邦電氣	樺原電氣	タマツ電機	新栄電氣	岡本庄電氣	道南電氣	イトウ電氣	佐藤電氣	白川電氣	平松電氣工務	巴電工舍	樺村電氣	樺工藤電氣	高橋電設	小林電機	昭和電設	東和電氣	高丘電氣	乙部電氣	マルカワ古川電氣	樺富岡電氣	里見電氣	

以  
上

(電気工事業者営業所)  
佐々木電気商会

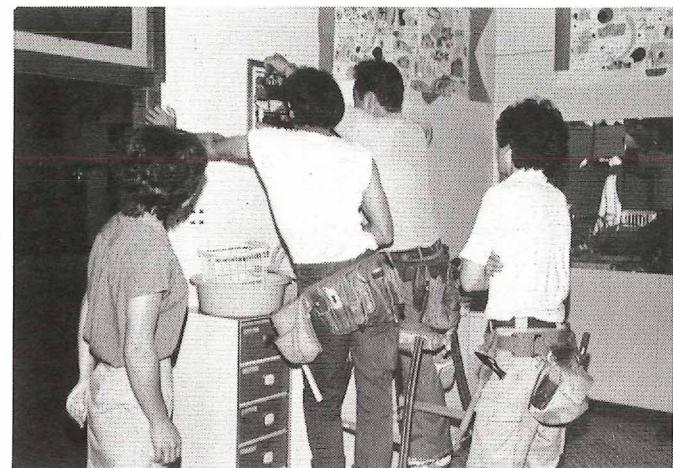
佐々木 請作 氏

昭和五十八年度の電気保安功労者として、去る八月五日札幌自治会館で開催された電気安全大会の席上、安全委員会委員長より表彰されました。

これは、電気安全について永年に亘り保守保安の運営並びに教育が充分行なわれて居り、他の模範として認められたもので、普段の努力の賜とお喜び申しあげます。

## 全国電気使用安全月間

### 各支部ボランティア活動の実施



### ▼おかめ八日▲

昭和五八年度全国電気使用安全月間が例年のとおり八月一日から三二日までの一ヶ月間に亘り実施されました。

全國団体で統一されたポスターの掲示、一組合員当たり三件の需要家サービス訪問のほか、本年度は当組合独自の実施項目として各支部単位で福祉施設の配線、器具の点検・清掃の実施を計画したところ、各支部組合員の協力によって約六〇施設のボランティアを実施することが出来ました。

施設からは『ともすれば社会とのつながりを失ないがちな施設

に対する理解と善意に感謝するとともに、電気保安の重大性を再認識する』旨の礼状が寄せられ、電気使用の安全に関する啓蒙と地域社会に対する役割りに大きく敢然としたのであります。

ボランティアに参加された組合員の皆様に厚くお礼申しあげます。

八月に入り全国電気使用安全月間が実施され、当組合の行事として各支部毎に福祉施設のボランティア活動の実施がとりあげられ、赤川支部では二ヶ所の保育園を選定して実施することになりました。

訪れた保育園では、このような奉仕をして貰うのがはじめてとあって吃驚して居りましたが、数人が手分けをして管球の取替、器具の清掃、配線の改修とまたたく間に奉仕作業が終りました。

ホコリにまみれたグローブは真白に、不点の蛍光灯が全部点灯されて見違えるようにきれいになり、喜びと感謝の言葉を背に我々は帰途につきましたが、我々が自分で出来る小さな親切が人を喜こばせ、人の心を安らげるることが出来る事を知ると同時に、奉仕の汗が自分の心をも安らげる事をその晩の一本のビールが泡の中に見出すことが出来たのです。

## お知らせコーナー

赤川支部長 工藤 義一

◎ 北電の引込線・計器工事の工量単価が四月一日改訂されました。

一、引込線工事 一点当たり 一八七円  
(現行一八一円)

二、計器工事  
一、高圧工事 一点当たり 一八七円  
(現行一八一円)

赤川支部組合員の総意で、地域社会に対するボランティアとして老人ホーム『清和荘』の電気設備の修理点検を実施したのは今春三月のことでした。

支部組合員総出で、コード引き配線の改修、換気扇や器具等の清掃、管球の取替等施設でふだん手の届か

ないところへの心配りによって照明は明るさを増し、足元を走るコードは姿を消して見違える程に整理され施設の院長はじめ入居者の喜びと感謝の言葉を聞いて、僅かの奉仕ではあったがこんなに喜んで貰えて良かったなあと思つたのでした。

隨筆

## ふたたび中国へ

### その三

平沼智子

いよいよ観光である。はじめは「西湖」遊覧。全員が一緒に乗る程大きな遊覧船ではないので、先に「花港公園」を散策。公園は「西湖」の南岸にあり牡丹花と鯉で有名なところである。花季は花見の人々であふれるとの事、清の康熙帝が鯉を放ったとの事である。鯉は勿論色鮮やかなにしき鯉で、開放後公園を広げて整備した。中国風の軒のそり返った亭や築山があり、広い芝生に腰を下ろして湖を眺める。明るい太陽がさんさんと降り注ぎ十月末なのに汗ばむ位。さわやかな気持で公園をブラブラしていると中国の小学生の遠足(?)に遇う。二、三年生位か、皆揃いの真赤なスカーフを衿に巻き、服装はマチマチだが男女ともにズボンをはく。スカートを着している女の子は一人も居ない。若い男女も沢山公園を散策している。テレビもバイクも持たない若者は公園散策が唯一の楽しみなのだろう。若いカップルがせいぜいカメラを首からぶら下げているのが時々目につく程度、それでも皆生き生きとした表情で明るい太陽を謳歌している感じである。

「西湖」は別名「西施湖」と言う。面積五・六平方キロ、周囲十五キロ、深さ二メートル湖の中に四つの島を持つ。「西施湖」の意味は中国三国時代、越王「勾践」が呉王「夫差」に敗れた後、夫差を惑わす目的で贈った美女の名にちなむ。美しさに比しての名称な

のである。通訳はただ美しい女人の名前とだけ説明したが、歴史についての説明はなかった。私の年代なら日本の歴史にこの三国時代の物語は縁が深い。日本史の南北朝時代、足利尊氏に追はれた後醍醐天皇が桜井の行在所に在られた時、深夜、児島高徳が庭に忍び入り、桜の木に詩を刻みつけたと言う故事を思い出すであろう。

天 勾践を空しうするなけれ  
時 范蠡なきにしもあらず

又、「吳越同舟」と言う言葉がある。遊覧船のデッキでいろんな事を考えていた。松尾芭蕉の「奥の細道」にも

象潟や雨に西施が合歛の花  
とありいづれも吾々になじみが深い。日本独自の俳句にすら題材として作品化されているのだから、西施とは誠に絶世の美人だったのだろう。

四つある島のうち「花港觀魚」の島は「錦鯉」を見る島で、長く延びた八つ橋の下を大きな鯉が群をなして泳いでいる。広い湖で鯉も偉せだと思う。

「小瀛州」と扁額のかかった島がある。ここはこの島の中に更に池があり「三潭印月」と言つて、並んでいる石燈籠の窓から三日月がのぞき、それが湖面につるとの説明であったが、そんなにうまく写るかどうか

か首をかしげたくなる。(白髮三千丈)のたぐいではないだろうか。

午後靈陰寺に参拝、この寺は別名雲林寺とも言う。杭州最大の名刹で三三六年、インド僧「慧理」によって開創され一六〇〇年の歴史を持つ。現在の建物は清代のもので本殿(飛靈齋)前にある石塔は十世紀のものである。本殿内部は高さ三十三メートルの黄金の釣迦大仏を安置する。一四五五年の作で楠木である。ここで意表をつかれたのは四天王像である。

「多聞天」は上三百の大きな目で冠を戴き右手に傘状のものを持つ。「広目天」は赤顔で眉をつり上げ目をむき、口をへの字に曲げて右手に蛇を持つ。「持国天」は鼻が大きく目は伏目、琵琶を持つが「バチ」は持っていない。「增長天」は黒色の顔で目をむき右手に剣を持つ。四体いずれも極彩色で美しいが表情がマンガ的で私にははじめない。最大の特徴として衣服の肘が三角に飛び出していることである。力感を強調したものなのだろうが、それにしては小さく迫力に欠ける。日本の奈良興福寺の「四天王」像は深遠幽玄な表情で内面を深く掘り下げる美しさを感じる。国民的な好みの相違であろうか。

大雄宝殿には「布袋」を安置、中国では「弥勒菩薩」の化身との思想がある。(日本の宇治万福寺は日本國の中国寺だけあって「布袋」が太鼓腹を出してデンと座っている)「布袋」の背中合せに「達駄天」像をまつる。次の室に不思議な仏像が壁一杯に並ぶ。一面浮彫で百五十体、中央は觀音菩薩で他の仏像より一きわ大きく、手に靈水を注ぐ水瓶を持つ。材質は楠木との事、金箔で右に竜女、左に善財童子を從える。この三体のみが立像で独立し、あとはリリーフ。この觀音様が「なまづ」の上に立っていらっしゃる。十八羅漢外沢山の仏像が金色にくらい堂の中で光っている。战火失い三百年前の明の時代に再建された。開放後、修復に力が注がれ柱に鉄筋を入れて修理されたとの事である。しかし、「なまづ」の上に乗る觀音様とは全

くユニークな発想で、平和を意するとの事であるが日本流に考えれば、地震を押える事が平和につながることなのか、このままで、頭は金色で胴は赤、うろこの文様を画く。なまづにうろこがあったかしらと考へながら眺めた。観音様以外の仏像の材質は石、だから石像に金箔と言う事である。この「布袋」「達駄天」、「なまづの上の観音」「諸仏のリリーフ」極形式の「四天王」は大小こそあれこの後参拝した寺全部同じパターンである。

六和塔にのぼる。六和塔は錢塘江の北岸に建ち高さ

三十九メートル、外観は八角十三層あるが内部は七層で右廻りのラセン階段である。階段は二二七段、段

数は大した数ではないが蹴り上げが高いので一段一段が大変、七階の窓から市街を見ると目の下に錢塘大橋が見え風光は抜群である。錢塘大橋は上段は車と人、下段は列車専用で二段式、長さ一、四五三メートルの鉄橋である。

六和塔は九七〇年「北宋」の時代に町を高潮から守るために建てられた。一九五六年に修復する。レンガ造りで内部の木部は清の時代に修理した。高潮となる原因は錢塘江が河巾一キロで下流に来て急に狭くなり、三百メートルにびれてしまう。旧歴八月十八日の高潮の時は、一・八メートルの高さに潮があふれ大変である由。錢塘江は中国で五番目に大きな河である。六和塔の名称の由来は「東西南北天地」の六つのいましめからとも言われ、又僧の六つの戒律からとも言われている。現在は灯台として使用されている。

杭州から上海へ列車で移動。中国側の要人が杭州駅迄見送りに来る。九時半出発の列車との事で



朝は服装やら荷物やらで大忙がし、待合室にも入らずバスからすぐホームである。列車が二本入っていてあつち、こっちと指示が狂い右往左往する。やっと最後部の軟臥車（グリーン車）に落着く。発車迄にやせばらくの時間があって九時半どころではなかつたのが、今更言つても甲斐なく杭州の駅をスナップ出来なくなつたのが残念。団体行動の時は自分だけ飛び出して行くわけにも行かずホームと列車を行ったり来たりだった。

二時間あまりの乗車、窗外は田園風景で天台山に行くときと全く同じである。ただ車内販売には驚いた。日本のように食料品が主体ではなく口に入るのはコカコーラだけ。それも容量は日本の半分である。その他は軸物、中華料理の本、花鳥風月の和紙の絵ハガキ墨絵の画集などである。勿論売りに来るのはグリーン車のそれも吾々日本人の席にだけである。

十二時五十分上海駅着 前回の訪中は成田から飛行機であつたので列車の駅は始めてである。上海市長をはじめとして要人多数の出迎えを受ける。ホテルは「錦江飯店」、中国第一のホテルの由、調度品がヨーロッパ風であると思つたら、過去イギリスの所有だったとの事、鈴木首相もここに宿泊されたとの事である。

玉仏寺参拝。前回の時も参拝したがその時はビルマから贈られた白玉の釈迦像が見学のハイライトであったが、今回は各部所を見学する事が出来た。

一番印象に残ったのは供養室、日本の位牌堂である。戸棚に位牌があり一つの位牌に三人書けるようになっている。一まとめにして「先祖代々」と

て経本を読んでいる。二十四時間くりかえしている。勿論僧も官吏だから八時間交替なのだろう。毎日人々休む事なく供養しているとの事なので故人も供せなことだと思う。

中国では希望者は僧になる事が出来るが布教活動はしていけない事になっている由、僧と言えども国家公務員なので給料を国から支給される。普通の僧は十円位、高僧になればもっともらえるのだろうが……。

通訳が月給六十円で上衣が十円もかかるとの事なので、お寺に宿泊し食事もお寺で食べ、服装も決められたものを支給されれば同じ位になるのである。

座禅堂を見る。僧が三人座つていた。月に二回私は高竜寺に座禅に行くが、座禅する時尻に当てる座布はパンヤのかたく入ったものを用いる。ここ玉仏寺は竹製で四十七センチ四方、高さ十五センチ位の低いもの、夏の暑い時は竹製は使い心地がいいと思う。上海の冬の温度はどの位あるのか、冬期間でも竹製なのである。僧堂の座禅は壁に向うものと思っていたが、玉仏寺は壁を背にして座る。シーンとした雰囲気でさすがドカドカと入る事をためらう。一步踏み入り一目見てすぐ引揚げる。日本僧の話では竹製の座布は非常に使いやすいと話していた。

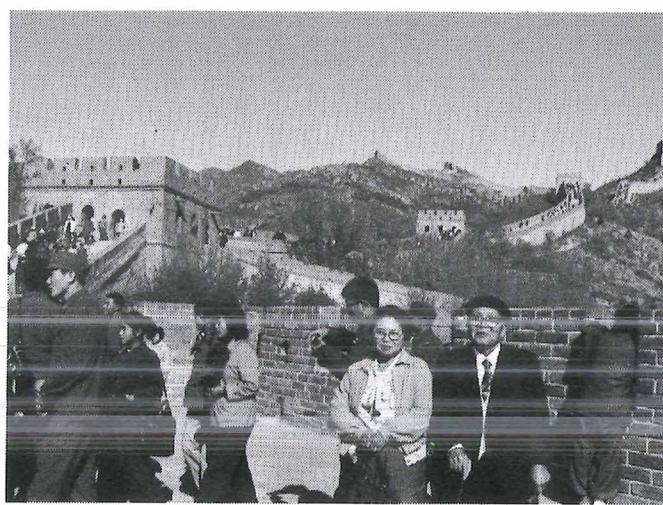
玉仏寺も杭州の靈隱寺と同じパターンで「布袋」「四天王」「達駄天」「なまづの上の観音」、但しながら頭だけ波の上にあり胴は波間に沈んでいます。三尊があり國清寺と同じであった。このリリーフは觀音經の絵解き物語りらしいが、このリリーフに近いものが日本の柴又の帝釈天にある。フーテンの寅さんで有名な柴又帝釈天の本堂の外壁がお經を解説したりーフで櫛の一枚板、見事な彫刻である。一見の価値があると思う。

若い僧が二十人位勉強していた。前回は全くの觀光であったが今回一般以外のところが見られて有意義であった。

玉仏寺の歓迎宴の時、上海市の官界や佛教協力の要人は勿論だが、各テーブルに中国人二～三人が同席す

る。私のテーブルに昨年中国仏教協会を代表して日本に来たと言う女性が座る。新幹線の早いのに驚いたと筆談をはじめての歓談をする。何回かの歓迎宴で共通な言葉は「熱烈」という語である。多分日本語の「心から」に相当するものなのだろう。この玉仏寺から頂いた記念品が訳者「鳩摩羅什」の観音経の複写本であった。普通一寸手に入らない貴重品。

(鳩摩羅什は三四四年～四一三年キジ国に生まる  
インド人を父とし四大訳経家の一人。法華經・  
阿弥陀經・外三十五部を漢訳する。三論宗の祖)



自然植物園を見学。自然と言うが大中小極大極小とあらゆる型の盆栽の公園である。好きな人にはよだれの出るものもあったらしい。何百年も前の鉢などが展示されてあった。陶器と言うものはこわれない限り永久に保存出来る。鉢は九十九パーセント素焼である。

龍華寺参拝。この寺は一七〇〇年の唐の時代に逆る歴史があり、一樹ごとに花を描いた格天井が見事。立派な塔があり現在は寺域の外になってしまった由、六和塔や隨塔から見れば小さいが時代の古さを物語っている。

いよいよ待望の北京行きである。上海発午後八時二十分の飛行機に乗る。機中、北京で絵の展覧会を開くと言う日本女性のグループに遇う。吾々は機内で輪製姿念珠と正装になったので、こんな大勢のお坊さんと遇つたのは始めてと合掌して降りていった。

十時五十分。最終目的地「北京」に到着する。

(以下次号)



◎ 年末特別融資利率——年七・八七五パーセント

帰り際にバスを取り巻いている附近の住民に食べずに持っていたりんごをあげようとしたが受取らない。「吾々は乞食でない」と言う姿勢なのだそうだ。バスの中では通訳が何かを話しているうちに受取るムードになつたのか窓から子供達に渡していた。

黄浦江を下る。黄浦江は長江（揚子江）の支流であるが、支流と云っても水深八メートルもあり大きな貨物船が往復し停泊している。長江との合流点までの遊覧だが往復三時間はたっぷりかかる。船は大きく一船室に舞台があつて手品をやつていた。勿論有料である。長江は海のようで勿論向うは見えない。合流点では長江の巾は二十八キロもある。黄浦江の左右は黒煙の上る工業地帯で、船から見る上海市街は高層建築物が立ち並び、かつてこの地区は英国の租借地であったところで建物はすべてその当時のもの、現在は市役所、貿易公社等官公庁の建物となつてゐる。これと言う風光明媚な処はないが、現地人がレクリエーションのつもりなのか沢山乗つていた。真中あたりで中国の帆をあげた舟二隻とすれば違う。ジャンクである。この舟と河は墨絵の題材である。「タン民」と呼ばれる水上生活者の舟が沢山見られた。

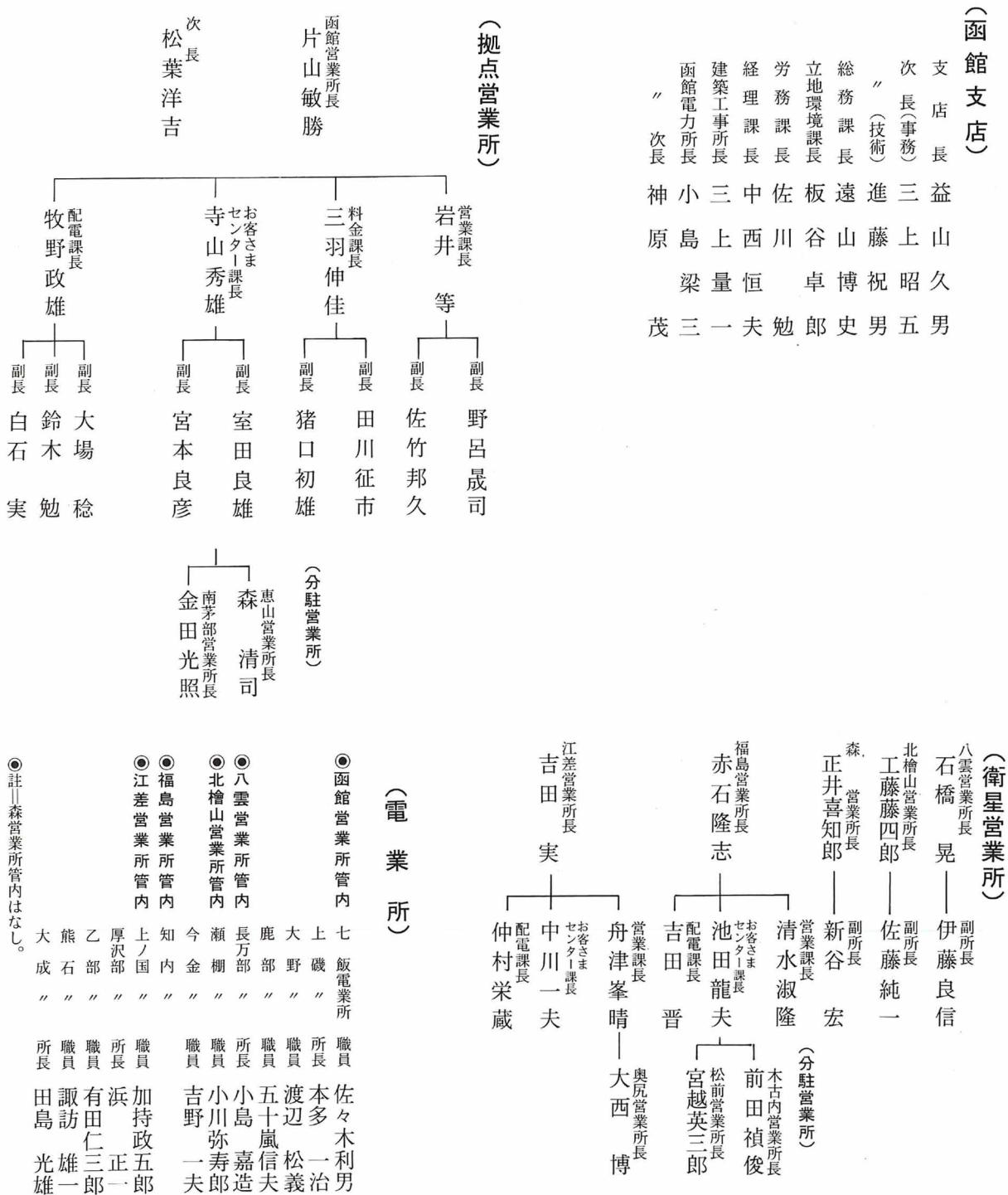
昭和五十二年に第一回の年末特別融資を実施してから第七回目の年末特別融資が、例年通り一〇〇万円と二〇〇万円の二通りで、来る十二月十五日実行する運びとなりました。

十月十五日で申込を締切つて十月二十一日に説明会を開催、十一月十一日に経理担当理事および特別金融委員によつて決算書類等について厳しい内容審査の結果一〇〇万円八件、二〇〇万円十三件合計二十一件で三、四〇〇万円の融資が決定しました。

年度毎の融資額をみますと、昭和五十四年度の融資額七、〇〇〇万円を頂点として毎年減少して本年度の融資額が最低となつた訳ですが、最近の厳しい経済状勢を裏付けるものとして考えられるかとも思います。最近いろいろな機会に経営の講習会・研修会が開催され、減量経営等と言う事も盛んに言われて居りますが、共通していえる事は企業格差が大きくなると言うことで、自分の企業がどのような状態なのか、どうしなければならないかを真剣に考えて対応しなければ敗者の道を歩まなければならぬ時代と言われています。ともあれ、この年末特別融資を今後継続していくためには、お互いが協力のもとにこの年末融資を適確に利用して、事故がなく終了することが大切と思われます。

## 昭和五十八年度 「年末特別融資実行」

## 北海道電力(株)函館支店管内組合関連組織図 (58.10.31)



あかるい明日を技術でひらく

## 東芝電材株式会社

函館営業所

040

函館市大繩町二十二番十四号  
電話函館四一三三四一

吟味する

## 松下电工株式会社

函館出張所

函館市昭和一丁目三〇の一  
電話函館四一五八一二

工事材料・電化製品

## 丸晃電気株式会社

函館市西桔梗町五八九一四九  
電話四九一六二一三一三

電気設備機器資材の総合卸商社

## 大興電機株式会社

本社 函館市西桔梗町五八七一〇七  
電話八雲町内浦町一〇七番七  
(03)363-3136 三一三六九番七  
山越郡八云町内浦町一〇七番七

支本  
函館営業所  
040-063-060

## 石垣電材株式会社

電気工事材料  
音響通信機器  
総合商社

株式会社

## 工三ヤ商会

函館市富岡町一丁目四一七  
電話四三三一〇一一(代表)  
本社 札幌・営業所 鉄路苦小牧



三菱電材特約店  
あらゆる電設資材卸

## 隆東電機株式会社

函館市西桔梗町五八九一〇八  
電話四九一六二二二六

電設資材・機電綜合卸

## 進和電機株式会社

函館市松川町三四一  
電話四二一六二二三一

明日をひらく電設資材の総合卸商社